

一般質問

わかたにしゅうじ
若谷 修治 議員
市民グループ未来の会



就学前教育の重要性の認識は

Q 乳幼児期は、生涯にわたる人格形成及び小学校以降の教育の基礎が培われる大切な時期であり、やり抜く力や自尊心などの非認知スキルは、数値では測れない内面の力になると言われている。その重要性をどのように認識しているか。

A 幼児期に最も効果的に獲得できると言われている非認知能力を育てるには、愛着と自制心が必要です。「愛してほしい」「見てほしい」「認めてほしい」の3つが満たされることで、子供は安心感と信頼感を得ることができ、非認知能力の土台ができます。非認知能力が育つと成長志向でチャレンジができる子、自分の背中を押せる子になります。

幼稚園・保育所・認定こども園では、諦めずにチャレンジする一人一人の子供の心情・意欲・態度を理解し、主体的な生活や遊びを通して、心豊かな人間性や幼児期の学びを今後も育んでいきます。

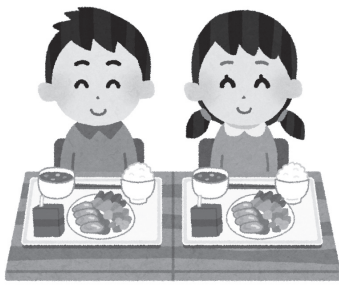
(市長)

学校給食費に係る公会計化の導入についての考えは

Q 文部科学省が学校給食費に係る公会計化等の進捗状況調査の結果を公表したが、本市の回答と開始予定時期について伺う。

A 当該調査への回答は、「準備検討している」と回答しています。学校給食費の公会計化については、香川県内でも実施している自治体があることから、先進自治体の状況を参考に、新しい学校給食センターが令和4年度から運用開始することに併せ、本市においても、調査・研究していきたいと考えています。

(教育部長)



質問の主な項目
・認定こども園への移行について
・命を守る教育について

まえかわ まさや
前川 昌也 議員
市民グループ未来の会



市長は次期市長選挙に立候補を表明したが、次の4年間の具体的なビジョンは

Q 本市の将来のために、市長はまちづくりの最高の設計者でなければならぬと考える。市長は市長選挙に立候補を表明したが、次の4年間にやりたいことは何か、具体的なビジョンを伺う。

A 公共施設の老朽化対策と適正配置は喫緊の課題と思っており、とりわけ、学校再編整備は、新年度に検討委員会を設置し、最適な規模で最大限の機能を発揮できる教育環境の実現に向けて、明確な道筋をつけていきます。あわせて、今年度末までに策定する個別施設計画に基づき、新年度から総合的かつ計画的な公共施設の管理を本格的に始動させるとともに、適正配置についても検討を進め、老朽化が顕著な田尾火葬場の建て替えについても本格的な検討に入っていきます。

これらに加え、地域経済の活性化、坂出ニューポートプランの具現化、地域コミュニティの活性化、子育て支援や人口増対策など、これまでに取り組んできた施策のさらなる深化を図っていききたいと考えています。

(市長)

コミュニティセンター整備についての見解は

Q 地域住民の拠点や安全・安心なまちづくりのため、公民館からコミュニティセンターへの転換、また、コミュニティセンターの整備をしてはどうか。

A 多様化する地域の課題に的確に対応していくためには、コミュニティセンターの整備も有効な手段の一つと考えますが、ハード面での整備に併せて、地域コミュニティというソフト面での整備も推進する必要があると見ます。

コミュニティセンターの整備については、地域の皆様と意見交換を行うなど、引き続き、本市の実情に応じた地域コミュニティの在り方についての議論を進め、その進捗状況や本市における地域コミュニティの方向性等、各地域の状況も勘案する中で、公民館の在り方等も含めて検討を進めていききたいと考えています。

(市長)

質問の主な項目
・新年度の予算編成について
・財政調整基金について

など